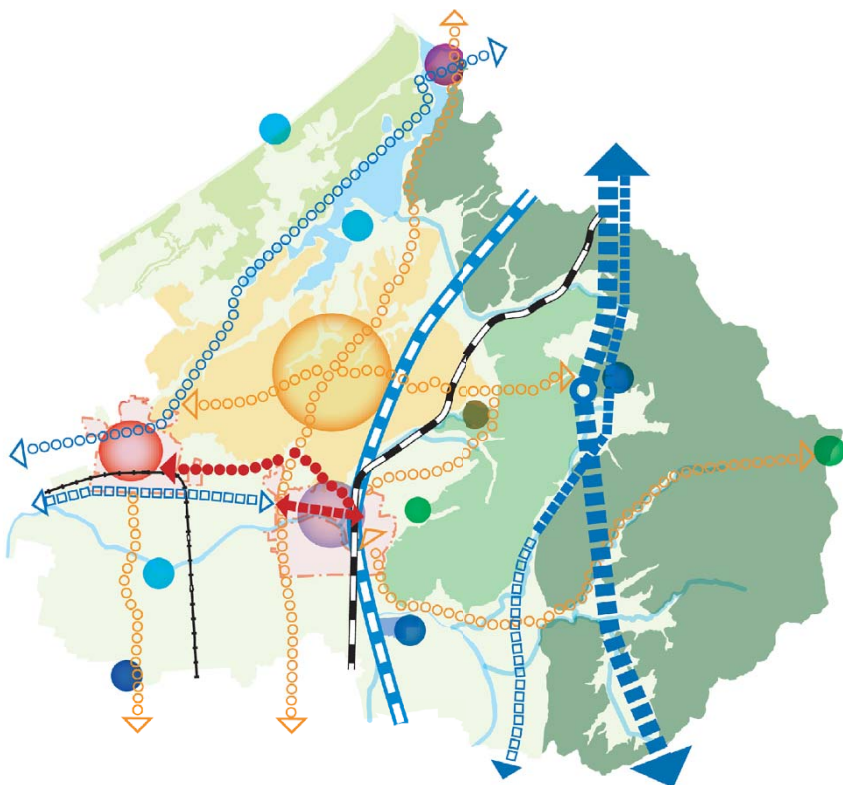




# あわらし市都市計画マスタープラン

THE AWARA CITY URBAN MASTER PLAN

ダイジェスト版



# 1 都市計画マスタープランとは

あわら市都市計画マスタープランは、市民のみなさんとの話し合いを通じて、都市の将来像とこれを実現していくための方針を定めたものです。

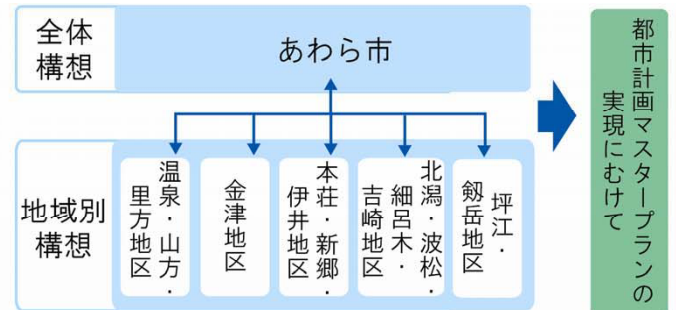
市民一人ひとりがまちづくりに対する意識を持ち、市民同士、市民と行政が話し合い、ともに進めるまちづくりを目指しています。

## (1) 役割

- ① 目指すべき都市の将来像を明らかにする
- ② 都市計画やまちづくりの総合的な指針となる
- ③ 市民と行政がともに進めるまちづくりの指針となる

## (2) 構成

- ① 全体構想……都市全体のまちづくりの方針
- ② 地域別構想……地域づくりの基本方針
- ③ 実現に向けて……実現に向けての具体的な方針



# 2 あわら市の都市の将来像と目標

都市の将来像とは、20年後の「将来の都市の姿」を示すものです。以下の将来像を掲げ、市民と行政が力を合わせてまちづくりに取り組みます。

## 多彩な自然と温泉情緒が誘う 生活感動都市

豊かで多彩な自然環境、歴史文化と創造的な芸術文化、温泉情緒が息づく地域固有の資源を踏まえ、住む人も観光客も継ぎ目なく心地よい空間が体感でき、魅力と活力が凝縮した都市の創造を目指します。

### (1) 多彩な自然と温泉情緒

森林、海岸、湖、河川、丘陵地、田園という豊かな自然のフィールドを舞台に、市民がいきいきと生活し、自然体験や芸術文化の創作活動、歴史や文化の探訪、温泉情緒を日々、満喫できるまちを目指します。

### (2) 誘う

季節の移ろいや日常生活を通じて、住む人に日々小さな感動を誘い、美しい風景を通じて、訪れる人に新鮮な感動を誘うまちを目指します。

### (3) 生活感動都市

生涯にわたって住み続けたいと思える生活空間と豊かなコミュニティがあり、かつこの地を訪れる人が何日も滞在したくなるようなもてなしの心が宿る場所がある「永住」と「滞在」のまちを目指します。

4つの部門におけるまちづくりの基本的な目標を掲げます。

### (1) 環境、土地利用、景観

都市の最も基礎となる自然環境は、次世代に受け継ぐべきかけがえのない資源として保全するとともに、多彩な特性を生かした美しい景観のまちづくりを目指します。

### (2) 農業、商業、観光、工業

地域資源を活かし、農業や商業、工業、観光の相互連携により、活力が実感できる永住型のまちづくりおよび来訪者に感動をもたらす滞在型のまちづくりを目指します。

### (3) 市街地、住環境、公園・緑地、都市機能

都市サービス機能の充実や魅力的な拠点の創出などによって都市の活力と魅力を生み出すとともに、緑豊かな景観形成により日々の生活に潤いをもたらす環境づくりを目指します。

### (4) 交通、防災

新幹線駅の開設を踏まえ、広域的な移動から日常的な移動、緊急時の移動まで、人・もの・場所を有機的に繋げる快適な交通網を整備するとともに、災害に強いまちづくりを目指します。

### 3 将来の都市構造

都市の将来像を実現するために、土地利用、都市の拠点、骨格軸を明らかにし、計画的で効果的なまちづくりを目指します。



#### 都市の拠点と骨格軸

都市の拠点	基本方針	資源
緑の交流拠点	自然の恩恵を活かした、自然体験学習や憩い、冒険、スポーツの拠点として位置付けます。	刈安山森林自然公園 トリムパークかなづ
親水拠点	身近に水辺を感じ、生活に潤いとやすらぎをもたらす拠点として位置付けます。	波松海岸 北潟湖畔公園、竹田川
歴史拠点	歴史を伝え、次世代に受け継ぐ学びと交流の拠点として位置付けます。	吉崎御坊跡
農文化拠点	農業風景を背景に、農業を通じて出会い、体験し、交流する拠点として位置付けます。	北部丘陵地
温泉文化拠点	温泉文化、芸術文化が融け合い、緑連なる回遊拠点として位置付けます。	芦原温泉街
広域交流拠点	福井県の北の玄関口として、広域的・日常的な都市機能が集積する拠点として位置付けます。	JR 芦原温泉駅周辺
芸術文化交流拠点	豊かな森林環境の中で芸術に触れ、創作を通じて文化交流する拠点として位置付けます。	金津創作の森
産業拠点	環境と共生し、職住近接型の雇用の場として、都市活力を生み出す拠点として位置付けます。	熊坂工業団地 金津中部工業団地 新規工業地

都市の軸	基本方針	資源
広域連携軸	北陸方面、関西方面、中京方面を結ぶ高規格道路や広域幹線道路は、広域的な人や物の動きを支える広域連携軸として位置付けます。	北陸自動車道 国道8号 国道8号バイパス (都)金津三国線 (坂ノ下～三国市街地)
広域観光軸	加賀市や三国市街地、嶺南方面の自然・歴史資源を結ぶ広域観光軸として位置付けます。	国道305号
シンボル軸	JR 芦原温泉駅を中心として、にぎわいと活力の軸として位置付けます。	(都)金津三国線 (JR 芦原温泉駅～坂ノ下)
都市景観シンボル軸	JR 芦原温泉駅と芦原温泉街を結ぶ都市のシンボル景観軸として位置付けます。	(市)金津芦原線
景観軸	都市の拠点間を快適に結ぶ景観軸として位置付けます。	(主)福井加賀線 (主)福井金津線 (県)芦原温泉停車場中川線 (市)滝高塚線 広域農道(フルーツライン)

(主)：主要地方道  
(県)：一般県道  
(市)：市道  
(都)：都市計画道路

## 4 まちづくりの基本戦略

まちづくりの基本目標を踏まえ、計画的、重点的、戦略的にまちづくりを進めるために、市民と行政が大切にすべき共通の視点や空間イメージを明確にします。

### まちづくりの基本戦略1

#### 自然や歴史を舞台に出会いと 美しい景観を創出するまちづくり (森林、海岸、湖沼、河川、丘陵地)

豊かな自然と歴史性を生かした環境整備により、市民も来訪者も豊かな時間が過ごせる空間を創出します。

- 森の魅力を体験する場をつくる
- 水に親しみ、学ぶ空間をつくる
- 農文化を味わい、集う場をつくる
- 歴史文化を学び伝える場をつくる

### まちづくりの基本戦略2

#### 地域資源の連携による活力と にぎわいのあるまちづくり (農用地、商業地、工業地)

既存の産業基盤や市街地を活用し、歴史文化や産業の連携によって、本市ならではの付加価値を加え、農林業、商業・観光、工業の活力とにぎわいを創出します。

- 美しい環境と景観を守る
- 最寄り商業機能を充実する
- 環境と共生する工業地を配置する

### まちづくりの基本戦略3

#### 福井県の北の玄関口にふさわしい JR芦原温泉駅周辺のまちづくり (JR芦原温泉駅周辺)

JR芦原温泉駅周辺は、福井県の北の玄関口として、特色ある美しい景観形成と新たな機能の導入により、活力と魅力あふれる空間を創出します。

- 玄関口にふさわしい新たな機能を導入する
- 森のように水と緑あふれる空間をつくる
- 空閑地を活かした人が集まるまちづくり

### まちづくりの基本戦略4

#### 魅力的な空間と回遊性の創出による 歩いて楽しい温泉街づくり (芦原温泉街)

あわら湯のまち駅前多目的広場の活用と街並み修景、魅力店舗の創出により芦原温泉街を活性化します。

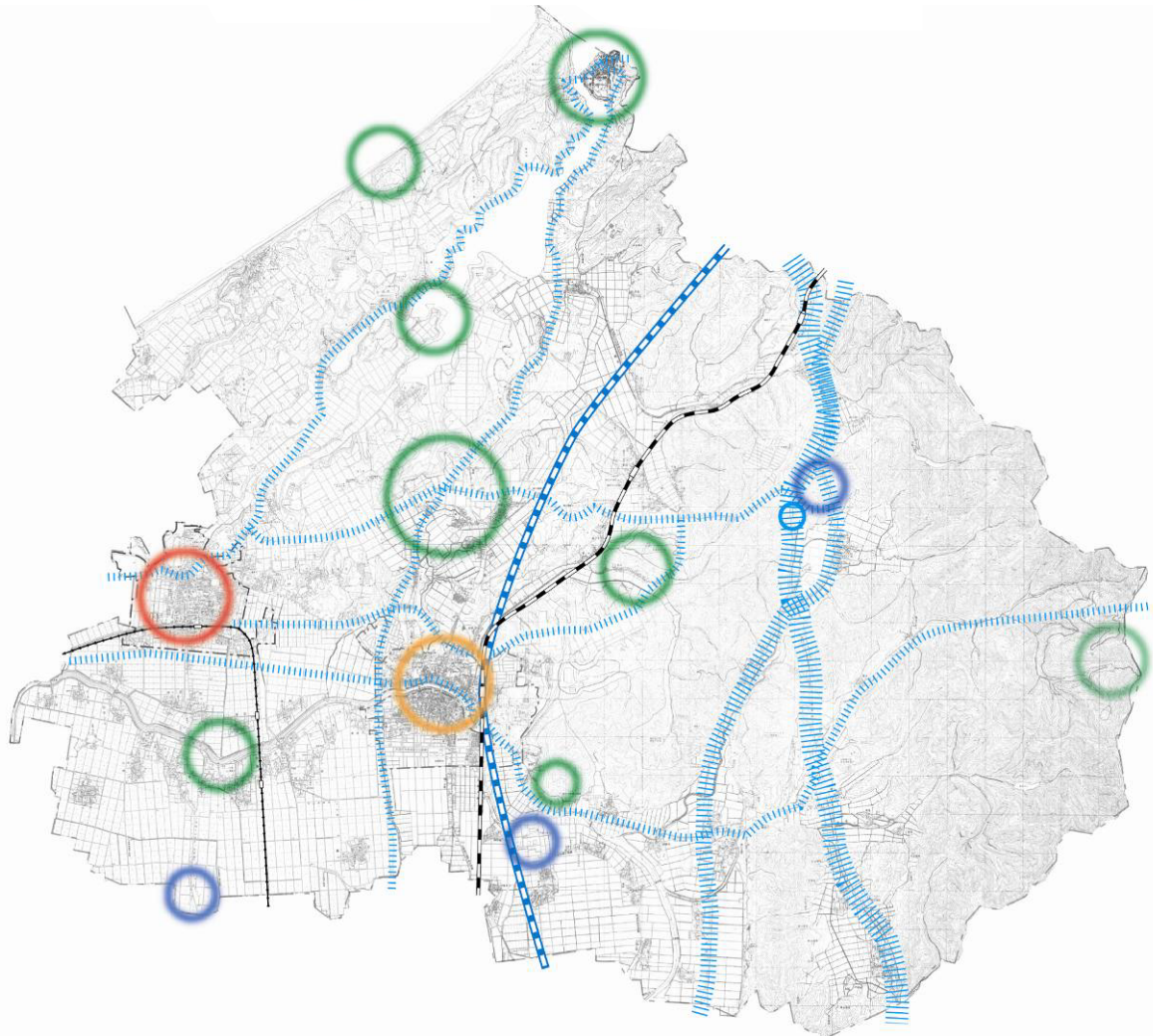
- 歩いて楽しい温泉街を創出する
- 市民が日常的に楽しめる空間をつくる
- 湯のまち駅前多目的広場を交流拠点にする

### まちづくりの基本戦略5

#### 人と拠点を結ぶ安全で快適な ネットワーク型まちづくり (景観軸の形成)

市内の拠点や地域を結ぶ主要な道路は、アクセスの向上と自然の風景を生かした魅力的な道路空間づくりを進め、統一感とコンセプトが感じられる景観軸を創出します。

- 都市のシンボル景観軸を創出する
- 無秩序な沿道開発を抑制する
- まちの拠点を美しい軸で結ぶ



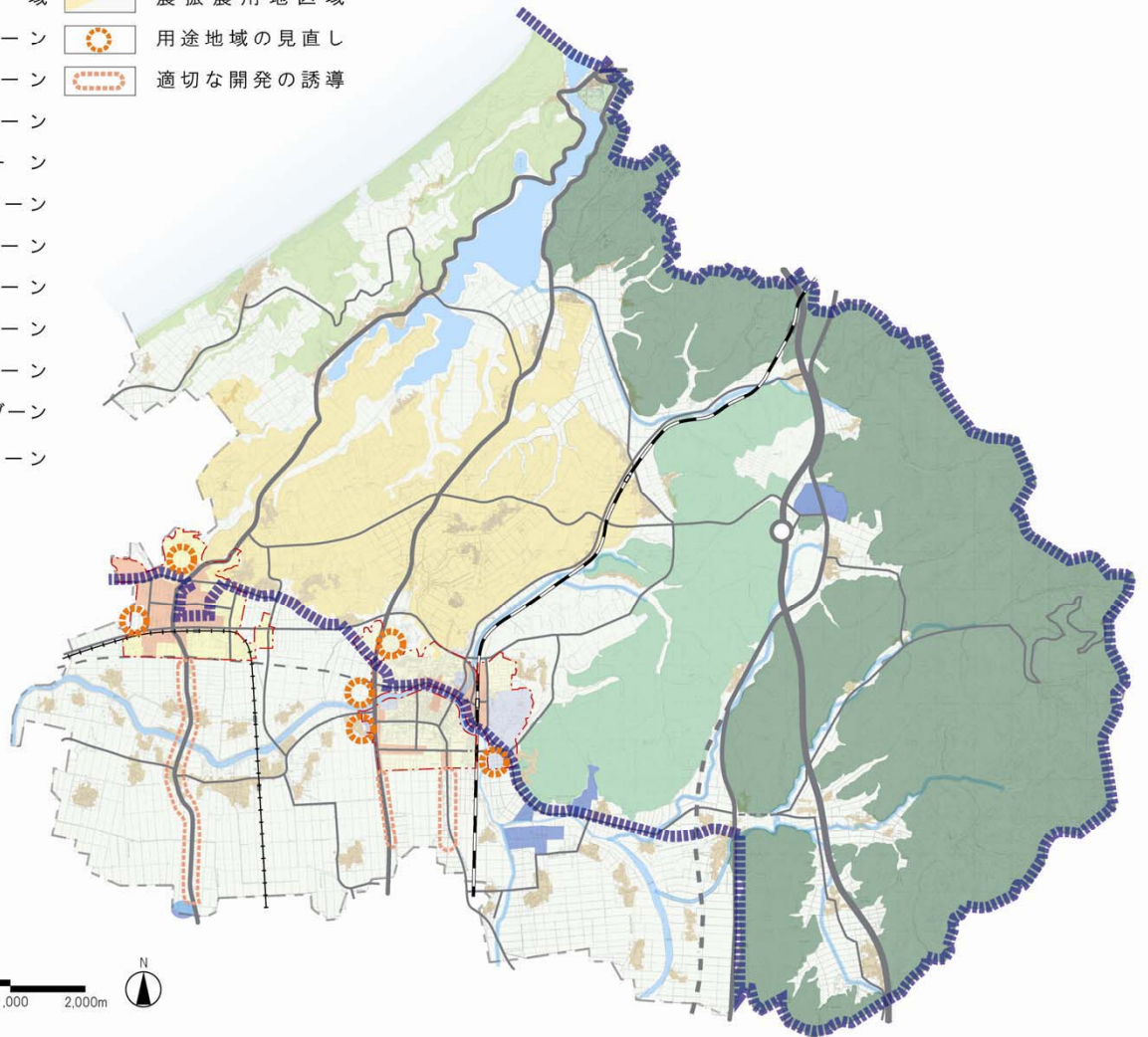
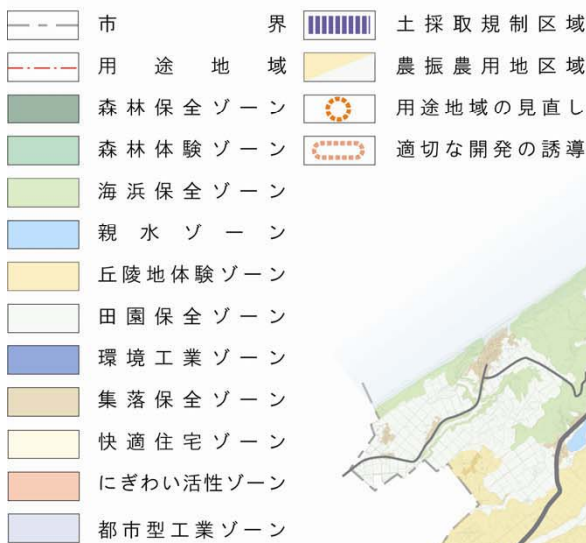
# 5 まちづくりの個別方針

## (1) 土地利用の方針

本市には、多様で豊かな自然環境と2つの市街地があり、居住、宿泊、教育、文化、福祉など多様な人の営みを支える機能がそれぞれに集積しています。これらの機能を十分に発揮させるため、住宅地や商業地、工業地の適正な土地利用を推進します。

### 適正な土地利用の推進

- ・今後の人口減少や市街地のコンパクト化などを踏まえ、用途地域や農振農用地区域の見直し、各種公共事業との調整を行い、適正な土地利用を推進します。



### 自然環境の保全と創造

- ・土採取や荒廃地への不法投棄が見受けられる山地や北部丘陵地は、環境面や景観面、安全面での悪化を抑制するため、法的な規制や緑化を推進します。

### 優良農地や集落地の保全

- ・北部丘陵地や南部平坦地に広がる優良農地は、農業的土地利用を保全するとともに、農村集落は、生活道路の整備や緑豊かな交流の場の充実により、田園環境と調和した閑静な集落環境を保全します。

### 商業地の再構築

- ・芦原市街地、金津市街地の商業地は、店舗が減少し、商業的なまとまりが失われつつあることから、必要とされる機能の導入や環境整備により、多世代が生活しやすい環境づくりを進めます。

### 居住環境の促進

- ・住宅地は、公園・緑地やオープンスペースの緑化、敷地内緑化など統一感のある美しい街並みの形成や高齢社会に対応した環境整備により、質の高いまちなか居住環境づくりを進めます。

### 環境と共生する工業地の配置

- ・既存の工業用地は、金津インターチェンジ近接という恵まれた立地特性を活かし、情報社会や環境と共生した工業地としての環境づくりを進めるとともに、堅調な工業の伸びを踏まえ、職住近接型の新たな工業地を配置します。

## (2) 道路ネットワークの方針

広域連携を強化するとともに、市内の主要拠点を結ぶ回遊性のある道路ネットワークを位置付けます。

### ◇広域幹線道路

- ・生活圏、交流圏、産業圏の拡大を目指し、高規格道路、国道など国土レベルの幹線道路や、広域的な市町を結ぶ主要な幹線道路を広域幹線道路として位置付けます。
- ・福井市、坂井市方面の接続を強化する国道8号バイパス、芦原、金津両市街地と三国市街地を結ぶ(都)金津三国線の整備を促進します。

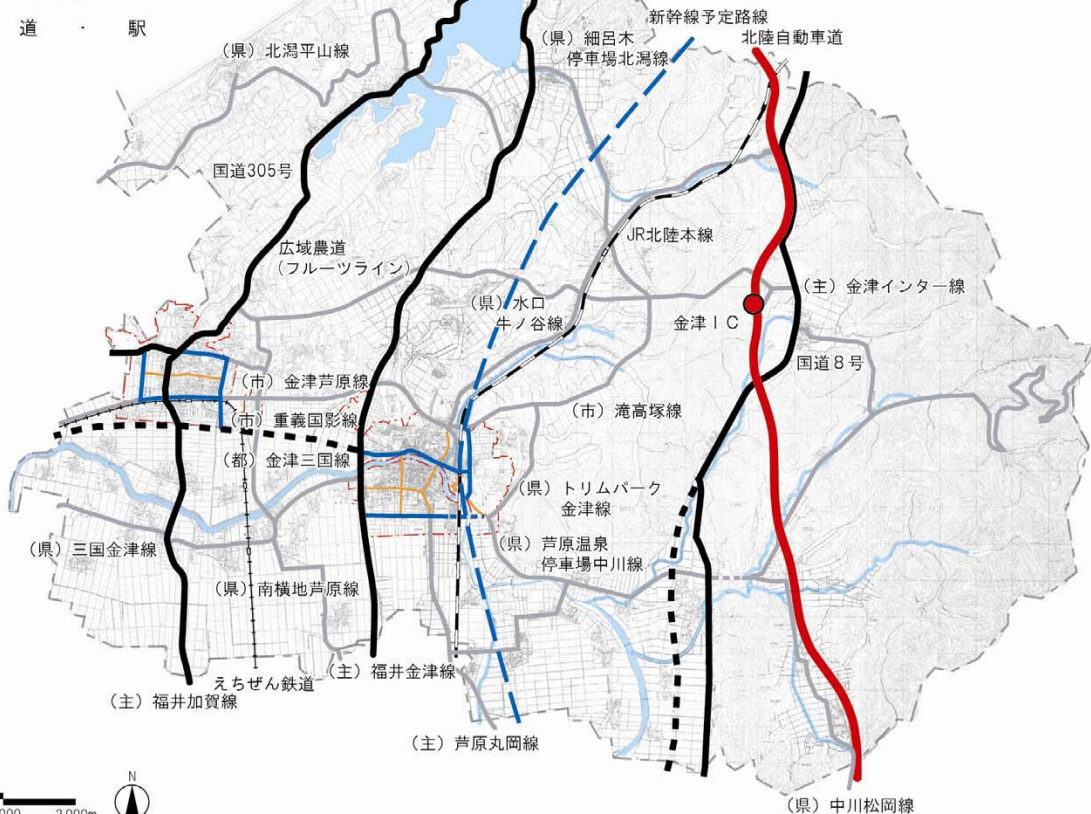
広域幹線道路	配置の方針
北陸自動車道 国道8号 <b>国道8号バイパス</b>	関西方面、北陸方面を結ぶ広域的な人や物の交流を支える広域連携軸として位置付けます。
国道305号	芦原市街地と北潟湖、吉崎御坊、加賀市を結ぶ景観軸として位置付け、環境整備を促進します。
(主)福井金津線 (主)福井加賀線	福井市、坂井市と市街地、加賀市方面を結ぶ南北軸として位置付けます。
<b>(都)金津三国線 (坂ノ下~三国市街地)</b>	金津市街地から芦原市街地、三国市街地に至る連携軸として位置付けます。

### ◇幹線道路

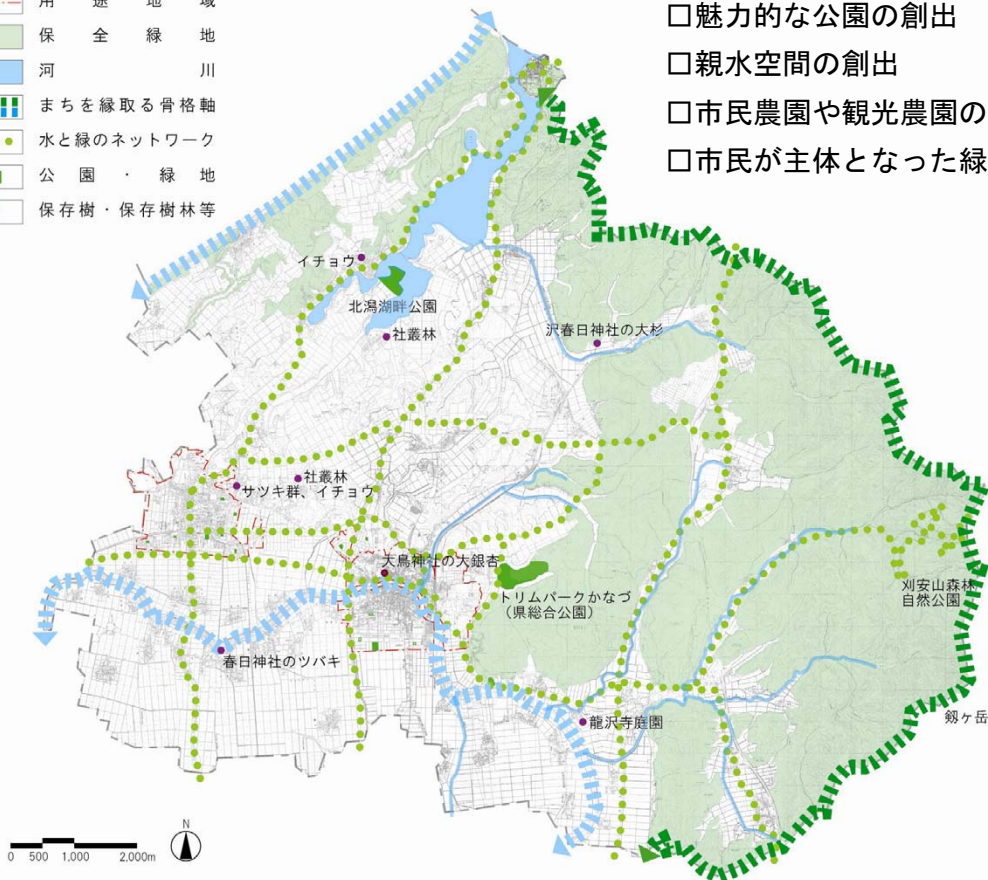
- ・広域幹線道路を補完し、周辺市町を結ぶとともに、市内の主要な拠点や地域間を結ぶ幹線道路として位置付けます。
- ・(市)金津芦原線は、芦原市街地や金津市街地、主要拠点を結ぶ軸として、自転車道路など多様な公共交通機能の導入も踏まえた道路整備を進めます。

幹線道路	配置の方針
(県)芦原温泉停車場中川線 (県)中川松岡線 林道市野々刈安線	金津市街地と伊井・劔岳地区や刈安山森林自然公園を結ぶ東西軸として位置付けます。
(県)水口牛ノ谷線	金津市街地と細呂木、牛ノ谷、加賀市を結ぶ軸として位置付けます。
広域農道(フルーツライン) (主)金津インター線 (市)滝高塚線	金津インターチェンジと北部丘陵地、両市街地を結ぶ軸として位置付けます。
(県)北潟平山線 (県)細呂木停車場北潟線	金津インターチェンジや市街地から北潟湖を結ぶ軸として位置付けます。
<b>(市)金津芦原線</b>	芦原市街地、金津市街地を結ぶ都市シンボル景観軸として位置付けます。
(県)三国金津線	金津市街地と三国市街地を結ぶ東西軸として位置付けます。
(主)芦原丸岡線 (県)南横地芦原線	福井市、丸岡市街地と芦原市街地や金津市街地を結ぶ南北軸として位置付けます。

**太字路線**：特に優先的に整備すべき路線



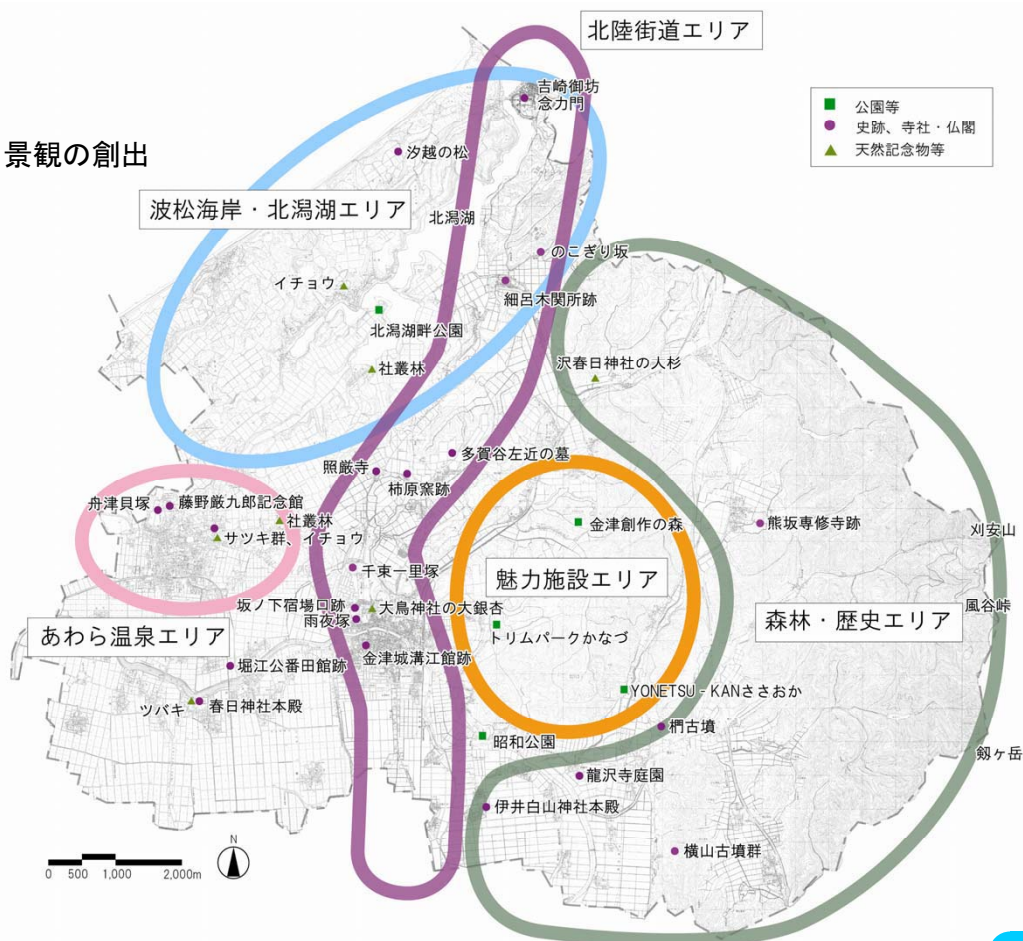
### (3) 水と緑のネットワークの方針



- 貴重な自然環境の保全と緑地の創出
- 公園・緑地の確保、オープンスペースの緑化
- 魅力的な公園の創出
- 親水空間の創出
- 市民農園や観光農園の設置
- 市民が主体となった緑化の推進

### (4) 景観づくりの方針

- 土地利用の保全・調和による景観の創出
- 歴史的な景観の保全と創出
- 都市景観の創出
- 道路景観の形成
- 住宅地の景観形成
- 工業地の景観形成



地域別構想は、道路や鉄道、河川や山などの地形条件や小学校区など社会的なつながりを勘案し、旧町境にとらわれることなく市内を5つの地域に区分した地域ごとのまちづくりの方針です。

地域別構想は、地域の住民が主体となって、地域独自のまちづくり構想を描きました。今後は、この地域別構想の実現に向けた地域住民の主体的なまちづくり活動を推進します。

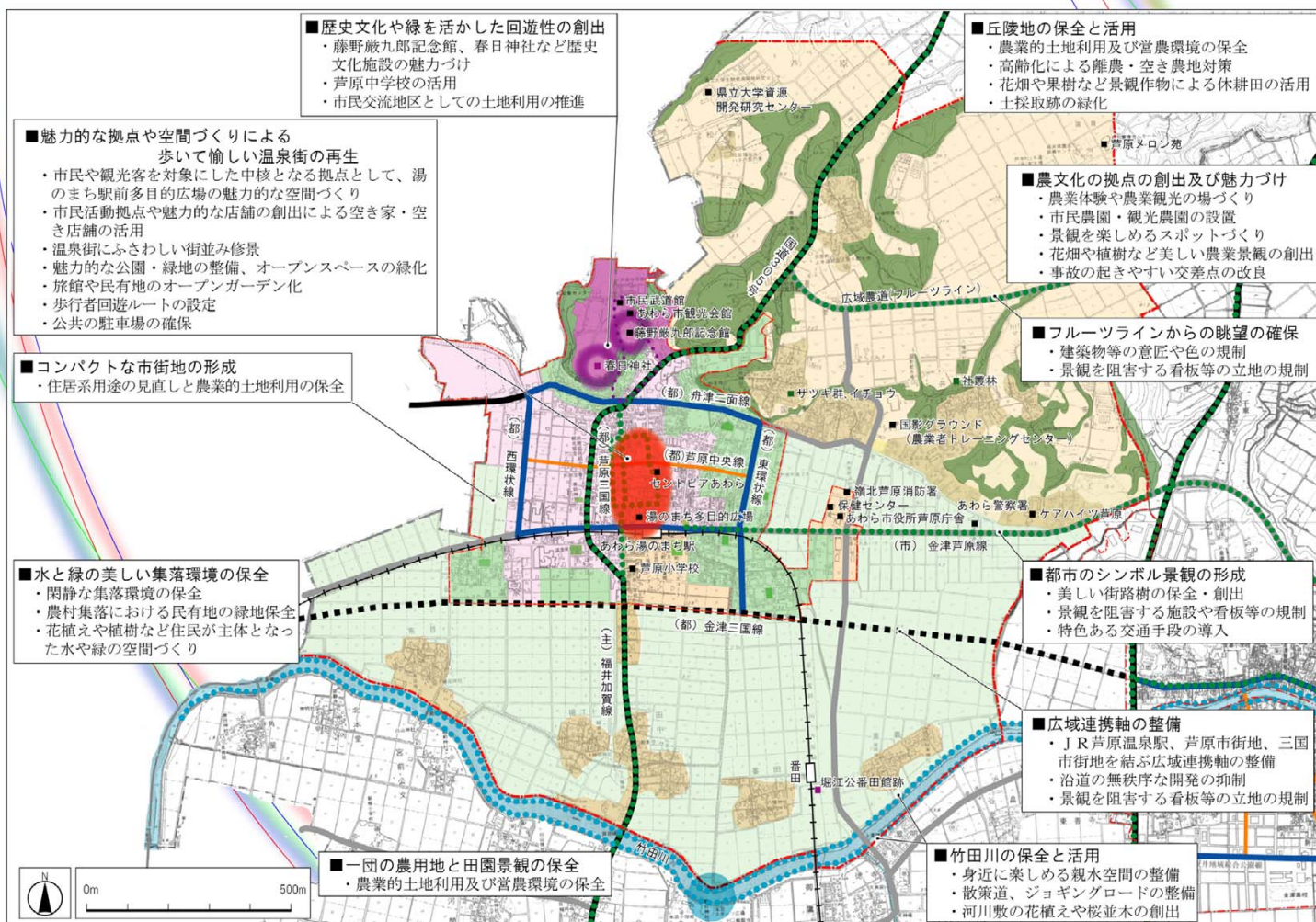
## 温泉・山方・里方地区 (癒しと文化創造ゾーン)

住む人も訪れる人も

牧歌的な農風景と温泉が魅力のまち

### 地域づくりの基本方針

- 牧歌的な丘陵地の景観と農の恵みを生かした、憩いと体験の場をつくる
- 芸術と歴史と緑があふれ、歩いて楽しい温泉街をつくる
- 湯のまち駅前多目的広場を市民も観光客も集うコアな拠点にする
- まちなかにコミュニティや活動を育む場をつくる
- 竹田川を守り、暮らしの中に潤いとやすらぎ空間を生み出す
- “誘うまち”、“見送るまち”もてなしの心があふれる道をつくる



凡例

市界	親水ゾーン	まちなか居住地区	広域幹線道路	公園・緑地	温泉文化拠点
地区界	丘陵地体験ゾーン	公共サービス地区	地域幹線道路	緑のネットワーク軸	親水拠点
用途地域	田園保全ゾーン	温泉文化地区	市街地幹線道路	水のネットワーク軸	地域の拠点
	集落保全ゾーン	市民文化地区	補助幹線道路	歴史文化の軸	



# 金津地区

(にぎわいと水と緑創出ゾーン)

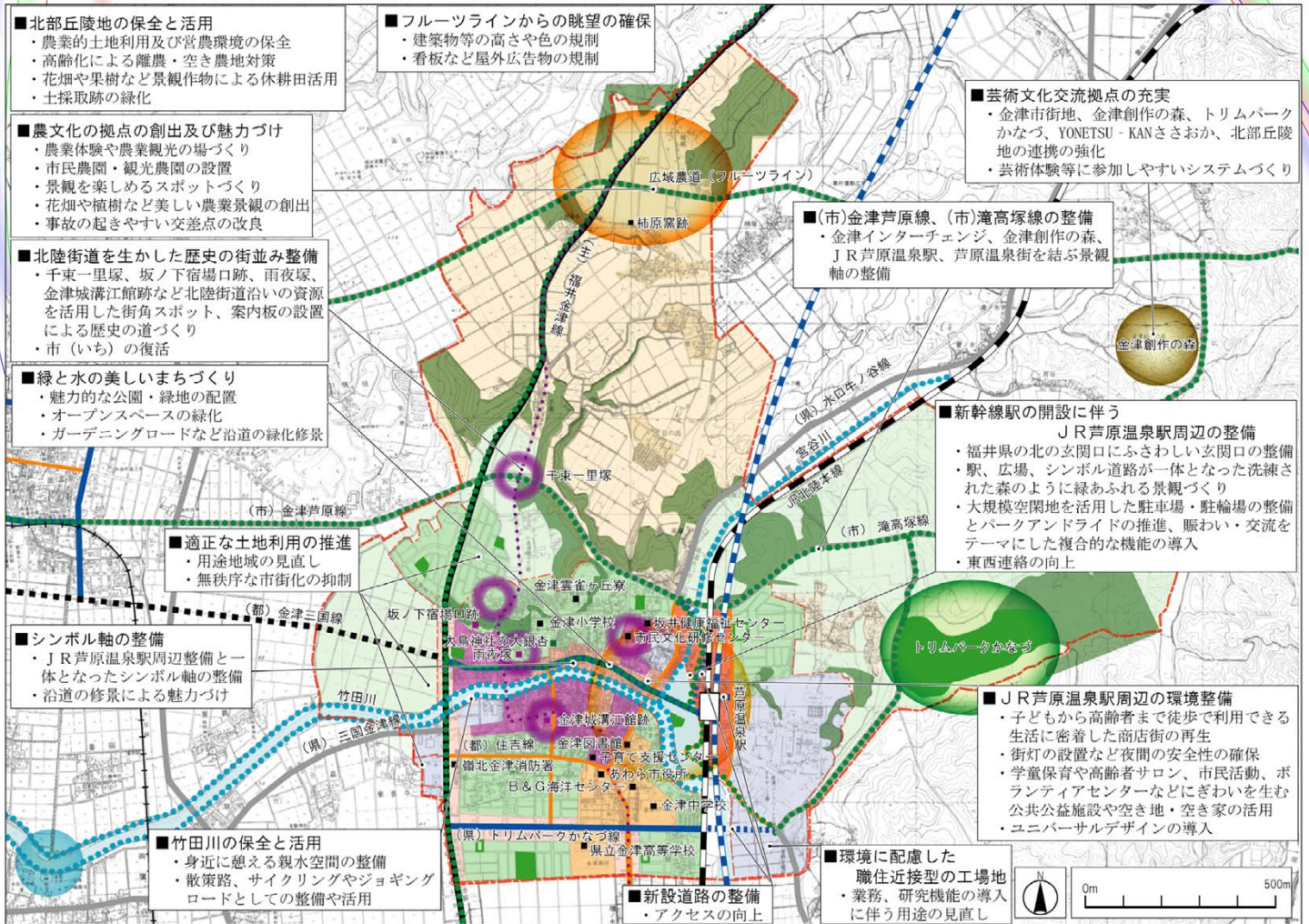


## 蘇る街道や市のにぎわい

## 水と緑あふれる生活が魅力のまち

### 地域づくりの基本方針

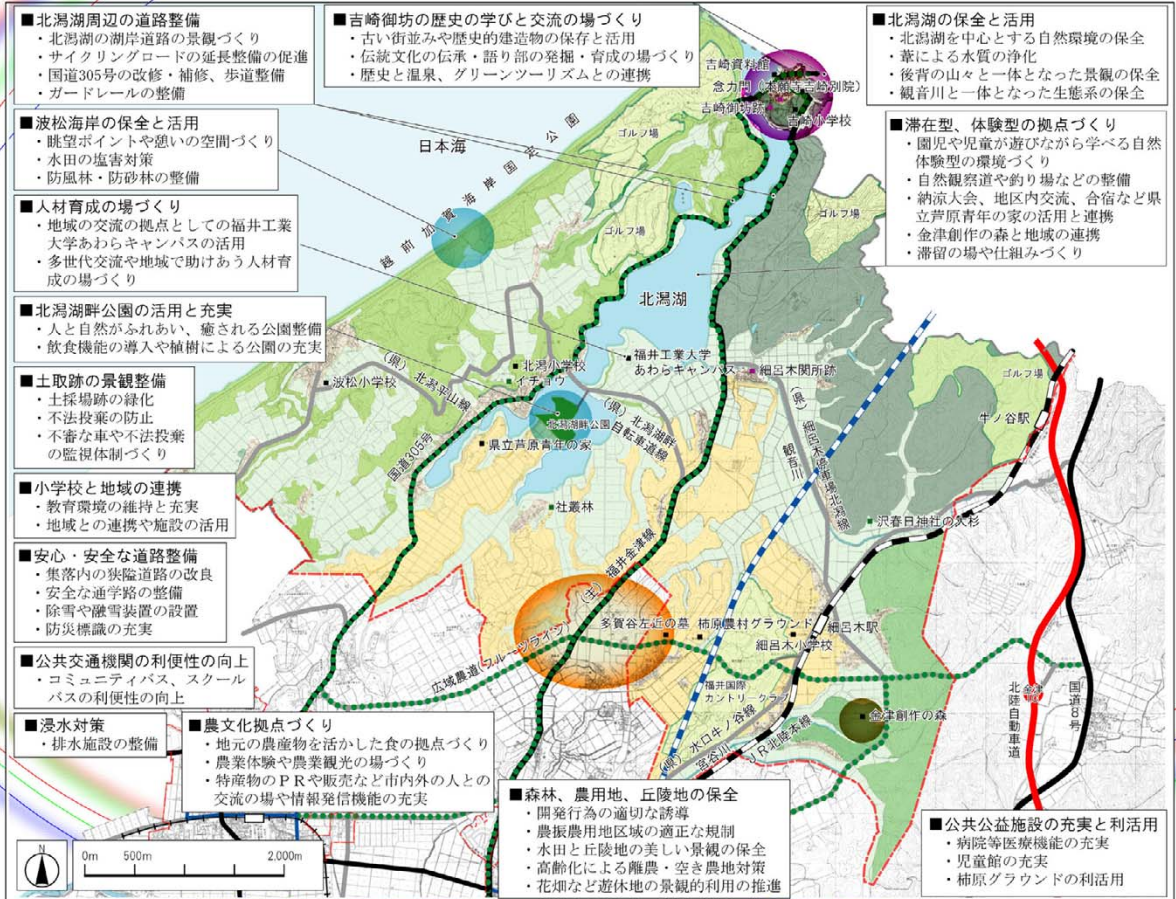
- 新幹線駅の開設—もてなしの心が漂う玄関口、わがまちの玄関口をつくる
- 歴史を掘り起こし、緑と水のきらめく美しいまちをつくる
- 子どもから高齢者まで歩いて快適なまちをつくる
- 竹田川を保全し、生活の中で息づく存在にする
- コミュニティや交流を育む場をつくる
- 市街地と周辺の魅力施設を美しい景観で結ぶ



凡例

	市界		親水ゾーン		公共サービス地区		広域幹線道路		公園・緑地		緑の交流拠点
	地区界		丘陵地体験ゾーン		多機能サービス地区		地域幹線道路		緑のネットワーク軸		農文化拠点
	用途地域		田園保全ゾーン		生活サービス地区		市街地幹線道路		水のネットワーク軸		広域交流拠点
			集落保全ゾーン		沿道サービス地区		補助幹線道路		歴史の軸		地域の拠点
			専用住宅地区		都市型工業地区						
			歴史文化地区								

# 北潟・波松・細呂木・吉崎地区 (風と水のゾーン)

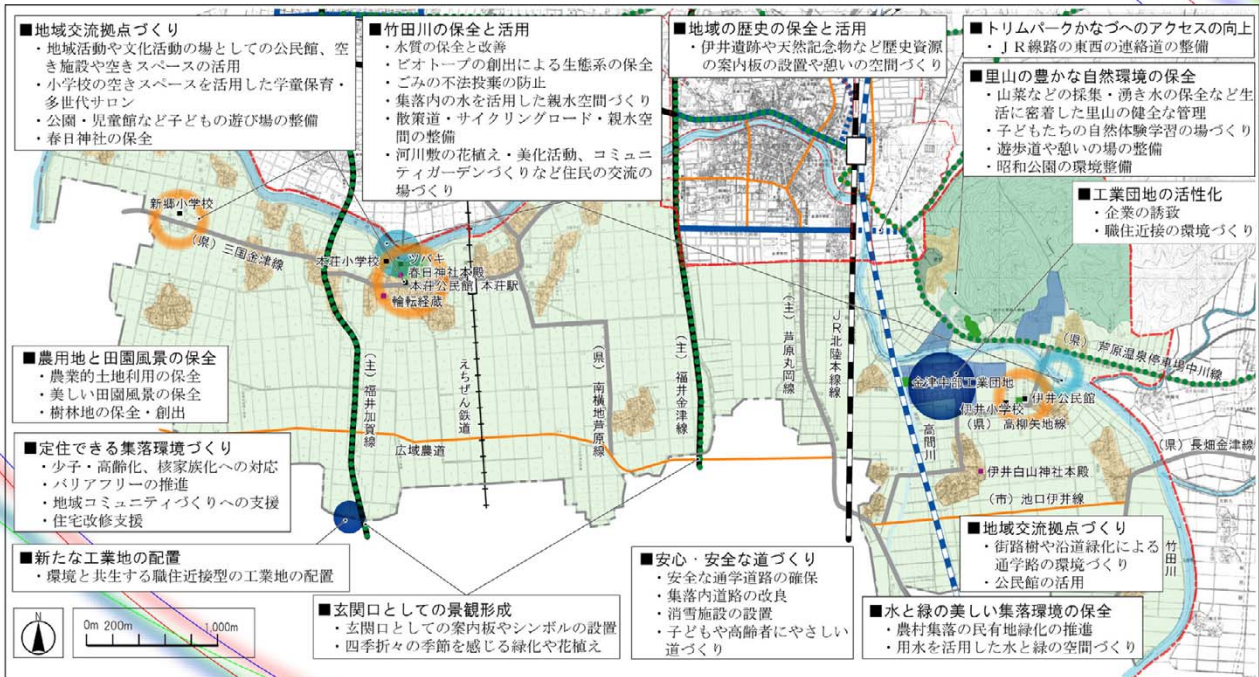


# 本荘・新郷・伊井地区 (田園生活アメニティゾーン)

## 田園や鎮守の森を受け継ぐ ふるさと浪漫のまち

### 地域づくりの基本方針

- 夕日と地平線の美しい田園地帯と風景を守る
- 川に向き合い、親しむ暮らしを取り戻す
- 身近に集い、学ぶ 里山の交流環境づくり
- みんなで地域の宝を守り、創り、育む
- 小学校を中心とした地域の拠点をつくる
- 安全で楽しい道路や通学路にする



# 北濃湖のきらめきと 悠久の歴史の感動が 魅力のまち



## 坪江・劔岳地区 (森の文化ゾーン)

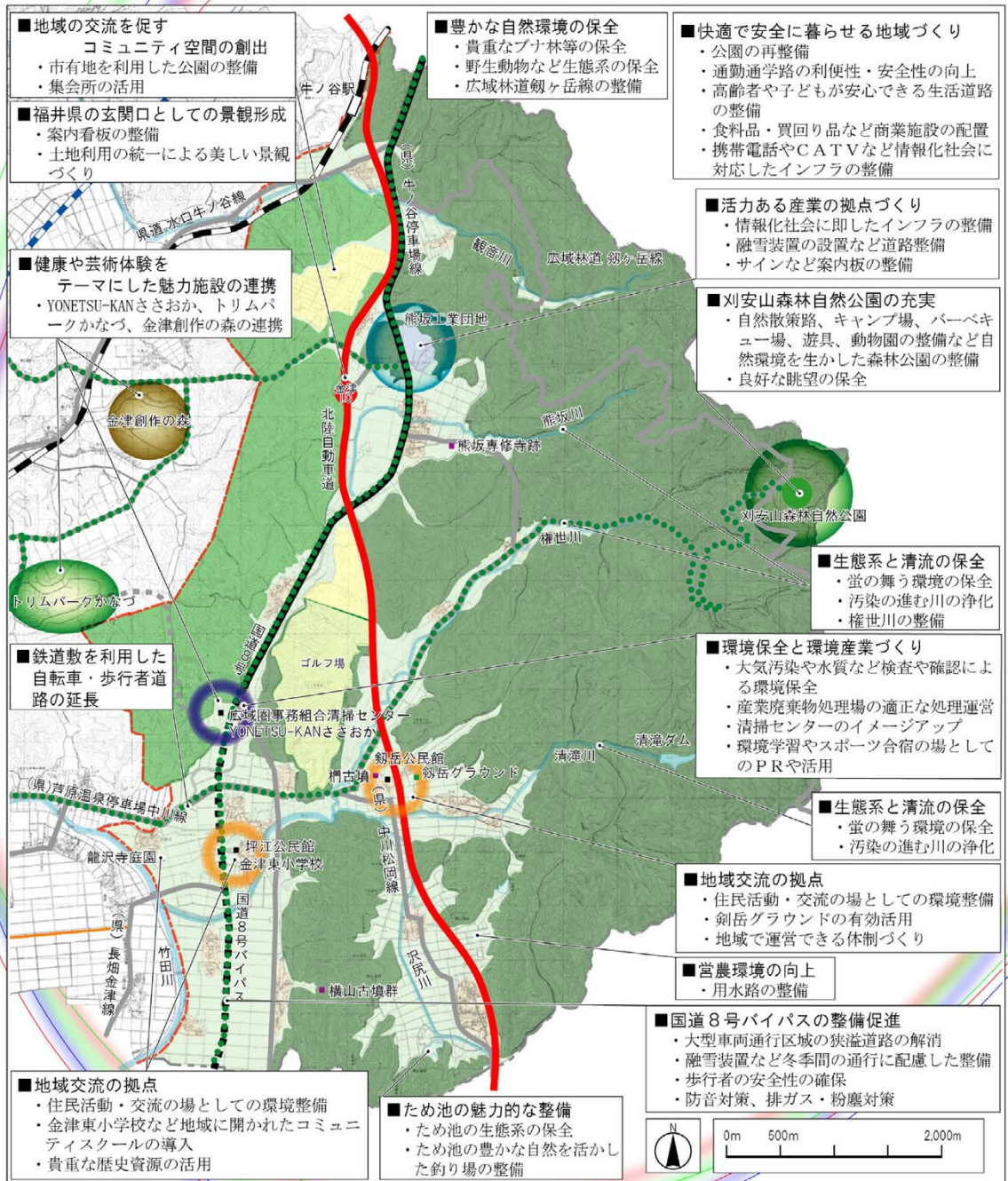
### 地域づくりの基本方針

### 森林と生き物が息づく 環境がテーマのまち

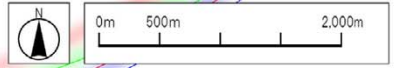
- 海、湖、山、田園、北部丘陵地の自然と風景を守る
- 海と湖の自然素材を満喫できる出会いと体験の場をつくる
- 歴史文化を発見し、次世代へ受け継ぐ
- 広域的な生活圏を踏まえた定住環境づくり
- 子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちにする
- この地の宝を地域コミュニティで育み、磨く

### 地域づくりの基本方針

- 豊かな森林環境を守り、魅力的な森林体験レクリエーションの場をつくる
- 虫の息づく清流を守る
- 環境とスポーツと芸術の体験型の拠点を磨き、結ぶ
- 福井県の玄関口として、立地を生かした活力と景観を生み出す
- 赤ちゃんからお年寄りまで 快適に、安全に多世代が住み続ける
- この地の宝を地域コミュニティで育み、磨く



凡 例	
---	市 界
---	地 区 界
---	用 途 地 域
■	森林体験ゾーン
■	親水ゾーン
■	田園保全ゾーン
■	集落保全ゾーン
■	環境工業ゾーン
---	広域幹線道路
---	地域幹線道路
---	市街地幹線道路
---	補助幹線道路
■	公園・緑地
●	緑のネットワーク軸
●	水のネットワーク軸
●	親水拠点
●	産業拠点
●	地域の拠点



## 7 都市計画マスタープランの実現に向けて

地方分権の進展により、様々な施策展開が市民に身近なレベルで実施され、市民・NPO・事業者の行政への参画の機会が拡大しています。今後は、市民と行政の役割分担や責任の明確化など、新たな時代に向けた質の高い協働の仕組みを築いていきます。

### 市民と行政の協働によるまちづくりの推進

#### ①地域別まちづくり委員会を母体としたまちづくり組織の推進

地域別構想では、住民が主体となり、地域独自のまちづくりの方針、主要方策を定め、実現に向けた市民と行政の役割分担を定めました。

この役割分担を主体となって検討した地域別まちづくり委員会を、地域のまちづくりを企画、実施する母体となる組織として位置づけ、支援することにより市民主体の地域づくりを積極的に推進します。

#### ②NPOの育成と活動支援

テーマ型のまちづくりを推進するため、NPOの育成、活動支援、行政との協働のシステムづくりに取り組みます。

#### ③支援制度の充実

市民主体のまちづくりを推進するため、まちづくり・地域づくり活動への助成支援やモデル事業の実施、専門家の派遣、活動拠点の設置など、市民が活動しやすい支援制度の充実を図ります。

#### ④行政の推進体制

計画的、横断的、戦略的なまちづくりを推進するため、行政内部の調整を横断的に行う検討組織の強化を図ります。また、市民組織、事業者との連携体制を整え、効果的に魅力あるまちづくりに取り組みます。

#### ⑤持続的なタウンマネジメント体制の推進

中心市街地においては、中心市街地活性化基本計画やJR芦原温泉駅周辺整備計画など関連計画を踏まえ、タウンマネージャーの積極的な活用や一般市民、商業者、専門家など多様な人材によるタウンマネジメント体制の推進に取り組みます。



#### あわら市都市計画マスタープラン ダイジェスト版

発行 平成18年11月発行  
福井県あわら市

編集 あわら市 土木部 都市整備課  
〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1-1  
TEL 0776-73-1221(代)  
URL <http://www.city.awara.fukui.jp/>